

12月12日さいたま市長メッセージ

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

近年、異常気象が続いており、今年の夏も記録的な猛暑だったことは皆さんも記憶に新しいところではないでしょうか。地球温暖化を背景にした気候変動への対策は、世界的に喫緊の課題となっています。

こうした中、気候変動対策に関する国際会議である「COP29」がアゼルバイジャンで開催され、私も3日間にわたり出席してきました。

初日の記者会見では、さいたま市の紹介や、気候変動において都市が果たす役割についてスピーチをさせていただきました。

日本政府が主催するセミナーでは、脱炭素社会実現に向け、本市がクアラルンプール市とともに取り組んでいる都市間連携事業を紹介するとともに、様々な国の取組事例や知見を伺うことができました。

また、さいたま市主催の「E-KIZUNAハイレベル会議」では、日本の自治体の取組事例として、私が会長を務める「指定都市自然エネルギー協議会」での取組や、市長就任以来取り組んできた電気自動車の普及事業「E-KIZUNAプロジェクト」について紹介させていただきました。

COPという国際舞台で、自治体のリーダーとして様々な国の参加者と課題を共有し議論できたことは、大変貴重な機会となりました。

気候変動という地球規模の課題において、自治体の役割は重要性を増してきています。さいたま市は引き続き、国や自治体、企業などと連携し、2050年のゼロカーボンシティ実現に向け積極的に取

り組^くんでまいります